

宇宙天気現象がもたらすハザードとリスク等の関係について

宇宙天気現象

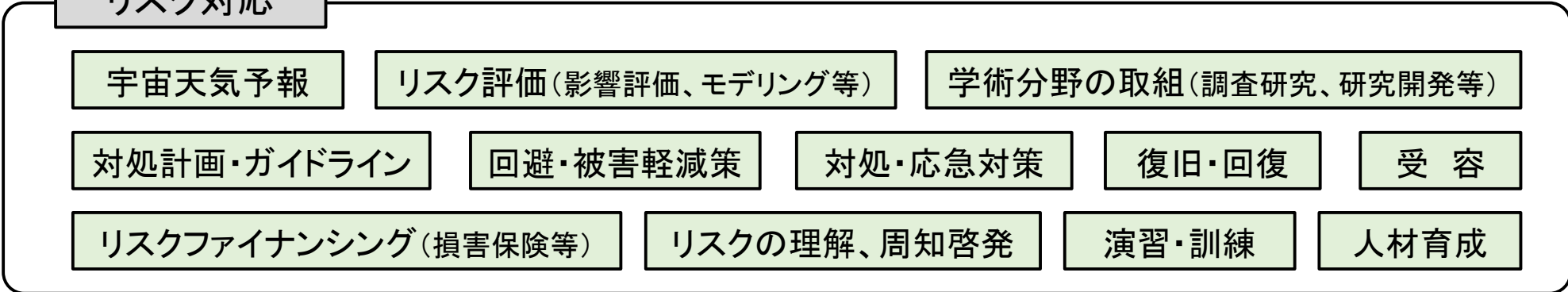


リスク(被害)(※) = ハザード(危害要因) × 脆弱性(Vulnerability)



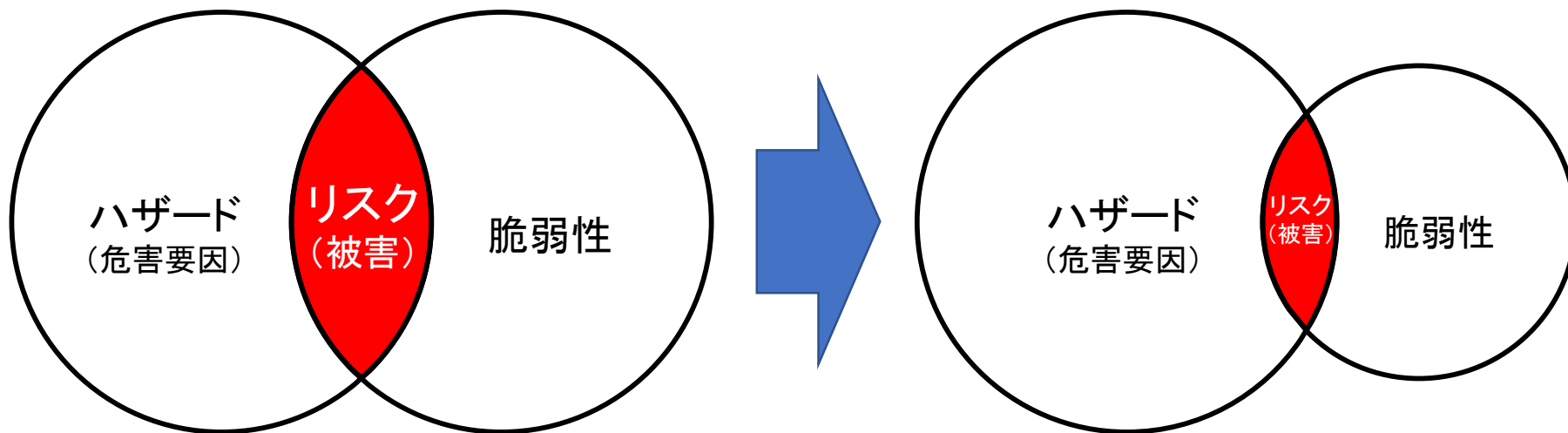
※ リスク=被害想定 × 発生確率

リスク対応



“宇宙環境”	宇宙空間における物理的・現象論的状态
“宇宙天気現象”	太陽、惑星間空間および磁気圏・電離圏における自然由来の宇宙環境
“リスク”	宇宙天気現象によって直接的に発生する物的被害・人的被害の想定及びこれらの発生確率に関する概念。また、間接的に発生するものとして、経済活動の停止、サプライチェーンの停滞、交通渋滞等の被害も考えられる。
“ハザード”	宇宙天気現象による被害を引き起こす可能性のある危害要因 (例:高エネルギー粒子、フレアX線放射、太陽風じょう乱等)
“脆弱性”	ハザードが発生した場合にインフラ等が被害を受ける程度。 そのインフラ等の物理的な位置や形態、構造、システム等によって決定づけられる。
“宇宙天気予報”	宇宙天気現象の観測、予報、警報、通報

(参考) 宇宙天気現象の対処において目指すべき方向性



現在

リスク対応の
普及・充実・強化